

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinkanagawa@nifty.com

5月1日現勢 組合員 8,398名
機関紙 5,192部
年金改善署名 42,947筆 07.7署名 8,001筆



神奈川県版 第233号 2008年5月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

第79回メーデー 緑萌ゆる五月晴れにはためくノボリ 9000人をめざす年金者組合は意気高らか



五月晴れのもと田島委員長を先頭にデモ行進する年金者組合の仲間 (この中央メーデーや相模原会場で年金者組合がデコレーションコンクールで優秀賞を受賞)

芽を吹く若葉のように 仲間づくりでジャンプ

カギを握る5月の取り組み

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。
全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。
三十九支部中三十八支部で成果を上げました。
そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

4月仲間づくり月間集計表

支部名	3/31現勢	目標		4/1~4/30		計	到達点
		月間	4月	増	減		
鶴見	186	15	5	9	0	*9	195
神奈川	262	30	10	8	1	7	269
港北	313	11	3	7	3	*4	317
横浜北	157	15	5	9	6	3	160
横浜中	23	12	4	1	1	0	23
磯子	161	15	5	8	1	*7	168
港南	285	20	5	2		2	287
横浜みなみ	246	20	7	10	2	*8	254
金沢	126	10	4	4		*4	130
保土ヶ谷	170	10	3	2		2	172
旭	294	20	10	16		*16	310
瀬谷	113	15	5	6		*6	119
横浜栄	85	12	3	4	1	*3	88
横浜泉	168	15	5	2		2	170
戸塚	258	15	7	6		6	230
川崎みなみ	389	24	8	7	12	-5	384
川崎幸	176	11	4	5	2	3	179
川崎中原	224	20	8	13	7	6	264
川崎高津	245	20	8	2	16	-14	231
川崎宮前	77	12	4		1	-1	76
川崎多摩	424	40	8	5		5	429
川崎麻生	123	12	2	3	1	*2	125
横須賀	303	45	15	2	2	0	303
三浦	53	6	2	1		1	54
逗子葉山	77	12	4	1	1	0	77
鎌倉	179	15	5	5	1	4	183
藤沢	114	21	9	11	2	*9	123
茅ヶ崎寒川	211	20	6	1	1	0	211
大和綾瀬	74	8	3	2		2	76
相模原	515	38	12	10	4	6	521
座間	78	6	2	1	2	-1	77
海老名	85	10	4	1		1	86
津久井郡	89	12	4	4	3	1	90
厚木	500	30	10	10	18	-8	492
愛川	250	20	7	13	2	*11	261
伊勢原	123	10	3	2	8	-6	117
秦野	184	15	5	8	1	*7	191
平塚	588	10	10	18	4	*14	602
小田原地方	348	24	8	8	2	6	354
合計	8,276	676	232	227	105	122	8,398

*は4月目標達成支部

旭 3月の支部役員会で、検討を重ね、目標を引き上げ県本部の「基準目標」を支部の目標とする。その後、童謡「基津穂」をモチーフに五月目標を突破。

磯子 三月十九日、役員と「協力者」計六人が、簡単な意思統一後三台の車で、統一行動を実施。各々が成果を上げ、この日五人増。一気に四月目標に到達。この日加入した新組合員を含め、意気高く乾杯し行動終了。

鶴見/小田原 今月間鶴見が元気ですでに9人増。五月目標達成まであと一人です。組織整備に取り組みつつある小田原支部は懸命に努力し実増6人を確保。新たな前進が始まっています。

4月目標 13支部が到達
サークルや統一行動で成果

平塚 六月の「新緑のつどい」を六〇〇人で迎え、一気に月間目標突破するつもりで月間に突入。ところがハイキング(五人、英語サークル(二人)、卓球(一人)などサークル等を中心に18人が加入。実増14人で四月中に月間目標を突破し、六〇二人に到達。県下で最初の六〇〇人支部誕生。引き続き県本部九〇〇〇人達成のため奮闘します。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

四月一日からスタートした「春の仲間づくり月間」、一ヶ月が経過しました。全支部の奮闘で八三九八人に到達しました。三十九支部中三十八支部で成果を上げました。そして、四月目標は全支部の三分の一に当たる十三支部が達成し、四月目標二二二二人に対し二二七人を増やし、実増百二十二人。これは、昨年同期の実増八五人の約一・五倍の成果です。

かながわ年金学校
とき 6月12日(土) 13:00 (予定)
ところ 建設プラザ
主催 かながわ年金学校実行委員会
(年金者組合、神奈川労連、県社保協、全厚生等)

高齢者医療制度 中止・撤回しかない

とまどい不安と怒り

大混乱の中で、4月から後期高齢者医療制度がスタートしました。この間どの支部でも体験したように、街頭宣伝だけで、行列ができ署名用紙がすぐ一杯になる状態でした。

政府は後期高齢者の特性を①治療に時間がかかる②認知症の症状がある③いざれ死を迎える、とまとめています。

これは後期高齢者医療制度ではなく、末期高齢者医療制度として扱って

年金から天引き

年寄りのくらしを無視

「説明不十分、戦前の治安維持法に次ぐ悪法だ。人格否定の悪法、

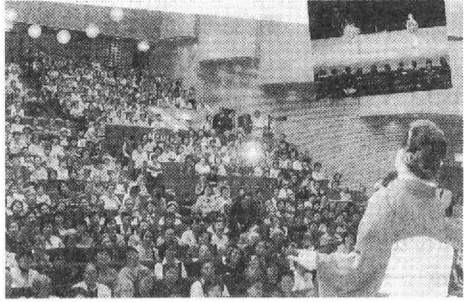
オイコラ権力取消せ」
(小田原・田代功)

「映画『シッコ』等を

チケットの配布が始まる

さわやか女性のつどい

第9回「さわやか女性のつどい」準備すすむ



一人ぼっちをなくして輝いていきる！「さわやか女性のつどい」10月31日開催に向け、県女性の会は3月28日、第1回実行委員会(各ブロック25名)を開き本格的に走り始めました。

まず、川崎市、川崎市教育委員会、川崎母親連絡会、県母親連絡会に名義後援の承諾をいただき、記念講演の講師、宝田明氏のプロフィール、写真、演題、支部からの出し物等でチラシを作成。チラシ裏には前進座ほか8件の広告をいただきました。

4月16日にはチケットも刷り上り、翌17日、チケット係総出(7名)でナンバ1振り、39支部への振り分け作業を完了しました。

4月25日の第2回実行委員会(前日に刷り上げたチラシを振り分け、午後の幹事会でチケットとチラシの一部を各支部女性の会へ。チラシは5月の県機関紙と一緒に全組合員の皆さまに配られる予定です。チラシデザインは松川鏡子さん、チケットデザインは兼子卓副委員長、会場(エポックなかはら)の申込み、広告集め等は川崎支部協のご協力をいただきました。5月よりは各支部の出演

申込み、バザー出演等すすめていきます。皆さまに喜んでいただける「さわやか女性のつどい」をめざし、また、1000名の「つどい」成功のため、実行委員一同、準備万端怠り無いよう総力をあげてまいります。

全支部の力で「つどい」を是非とも成功させ、年金者組合の発展と運動の推進につなげてまいります。支部の皆さまのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

「さわやか女性のつどい」実行委員会

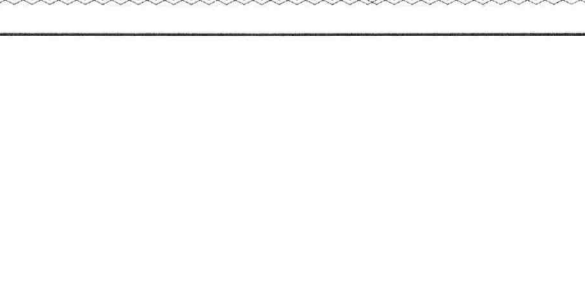
「カミさんは「こんな天引きされたら暮らせない」とカンカン。私達夫婦の保険料を合算すると、19万9512円、昨年の国保料より、4万8千円も高い、政府の「保険料は安くなる」は、真つ赤な「ウソ」」
(麻生・京田祥史)

「細々とした年金から保険料むしり、納めなければ証を取り上げる。救うべき為政者が貧しき国民を追い出す。恐る恐る区の窓口で手続きしたが、どこまで道があるのやらただでさえ心細い八十路の者。金がかかるかかるとのたまう行政トップ、

3月の中頃、後期高齢者の保険証が送られてきた。何ともいえない淋しさを味わいました。私たちが夫婦は2人も後期です。そしていま、激しい怒りを感じます。行政が国民を差別する。しかも、一生懸命働いてあなたにも迷惑をかけるように、生活してきたのに何で...。人生の終わりをむかえようとしているとき...。私、決めました。長生きするって...。この制度を中止撤回させるって...。そして誰にも、あの淋しさを味合わせないって。

(戸塚・国府和代)

「松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅」を90人で行ってまいりました。企画は春の裏磐梯と、戦後の謀略事件といわれている松川事件の現場も近いことから、現地の年金者組合福島県という少し欲張った企画でしたが、現地の年金者組合のご協力もあり、おおむね有意義な旅行という感想をお寄せいただき、文化部員一同ほつとしていきます。多くの方のご参加ありがとうございました。



見ると、アメリカの手下日本の今と未来の姿がすけて見えます。後期高齢者医療

制度はその象徴。絶対許してはいけぬ日本の恥です」
(多摩・川崎照雄)

テレビの画面をニラミつけるのみ」
(鶴見・深沢経男)

3月下旬、保険証が届いた。75才で夫婦を引きさく保険証、治療を抑えこむ医療制度。高齢者を「病気が多い、認知症、いざれ死ぬ」こんな

ことを平気で言える。大臣は人間ではない。私は満身の怒りでこのことを告発したい。
(伊勢原・加藤利秋)

おわび 多数寄せられましたが、紙面の関係で全部掲載できませんでした。おわびいたします。

松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅

「松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅」を90人で行ってまいりました。企画は春の裏磐梯と、戦後の謀略事件といわれている松川事件の現場も近いことから、現地の年金者組合福島県という少し欲張った企画でしたが、現地の年金者組合のご協力もあり、おおむね有意義な旅行という感想をお寄せいただき、文化部員一同ほつとしていきます。多くの方のご参加ありがとうございました。

4月2日、転倒して足を骨折。執行部内では後期高齢者医療制度の第1号入院患者となった松永書記次長。手術後動けるようになり、4月25日に車椅子で病院の受付窓口取材に出かけました。

新制度になって間もなく1カ月になるといのに、外来の高齢者は窓口の係から新しい保険証をと云われても分らない様子。「私はこれしか持っ

ていないよ」と従来のカード式を差し出したり、「役所からは何も送って来ません」と言い張る人。窓口は混乱しています。リハビリ病棟では骨折の老人患者の間に、完治しなくとも退院させられるとの不安が広がっています。「途中で出されたら食事トイレも自分で出来ません。先生、治るまで入院させて下さい」と真剣に訴える患者もいます。後期高齢者医療制度は多数の高齢者に理解されておらず心配と不満が募っています。

「川柳」

川崎麻生支部 阿部 和子
万緑や孫は「おなら」の語呂が好き
貴方の声ケイタイに留め置きし初夏
孫の手に眩しき一ひらさくらかな
横須賀支部 山田 良夫
原子力空母是非の問答花見客
まだ燃える八十路にも湧く闘志あり
平塚支部 高橋 福松
腕白のスボンに春の土汚れ

「俳句」

春の土涙も詰めて甲子園
平塚支部 寺田 公明
土ならし花種を蒔く妻の背な
(川柳)
旭 支部 本間鈍根花
五月夜火の海逃れ今がある
メーデーだ後期高齢元氣だぜ
母の日に豆餅贈りお茶濁す
旭 支部 毛利やすひこ
いざ鎌倉自衛隊ほんとに役立つの
円高です百円ショップいつ値下げ
既得権離さず改革口元で

松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅

「松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅」を90人で行ってまいりました。企画は春の裏磐梯と、戦後の謀略事件といわれている松川事件の現場も近いことから、現地の年金者組合福島県という少し欲張った企画でしたが、現地の年金者組合のご協力もあり、おおむね有意義な旅行という感想をお寄せいただき、文化部員一同ほつとしていきます。多くの方のご参加ありがとうございました。

松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅

「松川事件と裏磐梯をたずねる春の旅」を90人で行ってまいりました。企画は春の裏磐梯と、戦後の謀略事件といわれている松川事件の現場も近いことから、現地の年金者組合福島県という少し欲張った企画でしたが、現地の年金者組合のご協力もあり、おおむね有意義な旅行という感想をお寄せいただき、文化部員一同ほつとしていきます。多くの方のご参加ありがとうございました。